

たかはぎ 議会だより



勤労青少年ホーム



総合福祉センター

主な内容

議長挨拶	2
議案に対する質疑	3
委員会審査報告	5
討論・議案等審議結果	6
市政に対する一般質問	7
特別委員会報告	11



議長 吉川 道隆

新緑の候、市民の皆様には日頃から、市議会に對しましてご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

先般の指定廃棄物最終処分場候補地問題につきましては、市民、行政、議会が一体となり建設反対の強い意思表示により、事実上の白紙撤回となったことは大きな成果であり、市民力の強さと重要性を感じた次第であります。

さて、高萩市議会は、市民に開かれた透明性のある議会をめざして、議会改革等調査特別委員会を設置し、さまざまな議会改革に取り組んでおります。

その一環として、昨年の9月より本会議のインターネット中継と災害FM（現在はコミュニティFM）での放送を開始いたしました。インターネット中継は、ライブ中継（生中継）のほか録画中継も取り入れ、24時間いつでも視聴ができるものとなっております。

また、4月には初の取り組みとして、議員が地域で直接皆様に議会活動を報告し、意見交換を図る場として、議会報告会を市内6か所の会場で開催いたしました。

このような中、本市の議会報である「議会だより」につきましても、これまで以上に読みやすく、読んでいただける議会報とすべきであるという編集委員の思いから検討を重ね、このたび紙面を一新いたしました。以前より読みやすく、分かりやすい議会だよりになったと感じていただければ幸いです。

議会だよりは、これまで幾度となく改変を重ねてまいりましたが、今回のリニューアルにつきましても完成形とは考えておらず、さらに継続してよりよい広報紙をめざし検討を重ねていきたいと思っております。

皆様に議会がさらに身近なものとして感じていただけるよう、議員一同努力して参る所存でございます。今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶いたします。

議会だより編集特別委員会 視察報告

視察実施日：平成25年1月29日～31日

●視察目的及び視察内容

現在発行している「議会だより」について、記事の内容や編集・レイアウトなどいわゆる「マンネリ化感」が生じてきている。さらに近年の議会改革の流れの中で、「市民に開かれた議会」を目指す上で、議会だよりがこれまで以上により読んでもらえる広報紙になることを通じ、議会自体と市民意識の向上が図られ、さらなる市政発展の契機になるのではないかと。

そうした問題意識のもと、「議会だよりを市民に読んでもらうためにはどうしたらいいか」をテーマに視察研修を実施したものである。

●視察場所

- 1月29日 山梨県北杜市
- 30日 長野県千曲市
- 31日 長野県東御市（写真）

●行政視察を終えて（所感）

今回の視察は、「議会だより」編集に関わるノウハウを出来る限り取得するため、3日で3自治体を訪問する強行軍の行程で実施しました。

まず視察先の受入態勢が丁寧でかつ快く迎えてもらえたことに感謝したいと思います。また視察先の議会だより編集を担当する特別委員会委員の方々の、議会だより編集に対する思い入れの強さと深さが十分感じ伝わった視察研修でありました。

それは市民の皆さんに、市政発展のため議会をもっと知っていただくという議員公職としての高邁な意識から発しているに違いありません。議会だより編集に携わる委員は、より一層の公平・公正感覚が要求されるということを、今回の視察を通して改めて痛感できました。具体的には、画像をより多く用いることで親しみやすくわかりやすい構成になることや、ユニバーサルデザインの文字を使用することで格段に読みやすくなること、記事内容とページ編成などなど。まだまだ模索段階ではありますが、このリニューアル版高萩



市議会だよりをご覧いただければ、今回の視察の成果がご理解いただけると確信するものです。

議

案

質

疑

議案第19号 高萩市部設置条例の一部改正について

大足光司 議員

質問 今回の改正は市長公室を設置し、秘書に関する事柄や広報・広聴に関すること等が掲げられている。また、商工観光に関する課を建設経済部から経営戦略部に移管されるが、その理由について聞く。

経営戦略部長 市長公室を設置する理由は、市長直轄の事務をコンパクト化した組織体制として、市報・週報・FM等、広報的業務を一層強化

提出された議案等の一覧

- | | |
|------------------------|--|
| 選挙第1号 | 茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙について |
| 議案第1号 | 高萩市教育委員会の委員の任命について |
| 議案第2号 | 高萩市公平委員会の委員の選任について |
| 報告第1号 | 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について） |
| 報告第2号 | 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について） |
| 議案第3号 | 平成24年度高萩市一般会計補正予算（第11号） |
| 議案第4号 | 平成24年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） |
| 議案第5号 | 平成24年度高萩市公園事業特別会計補正予算（第2号） |
| 議案第6号 | 高萩市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の制定について |
| 議案第7号 | 高萩市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準等に関する条例の制定について |
| 議案第8号 | 高萩市道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定について |
| 議案第9号 | 高萩市河川管理施設等の構造に関する技術的基準を定める条例の制定について |
| 議案第10号 | 高萩市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について |
| 議案第11号 | 高萩市都市下水路の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について |
| 議案第12号 | 高萩市営住宅等整備の基準に関する条例の制定について |
| 議案第13号 | 高萩市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について |
| 議案第14号 | 高萩市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正について |
| 議案第15号 | 高萩市都市公園条例の一部改正について |
| 議案第16号 | 高萩市営住宅管理条例の一部改正について |
| 議案第17号 | 高萩市心身障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例の廃止について |
| 議案第18号 | 高萩市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び高萩市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 議案第19号 | 高萩市部設置条例の一部改正について |
| 議案第20号 | 高萩市集会所設置及び管理に関する条例の一部改正について |
| 議案第21号 | 高萩市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について |
| 議案第22号 | 高萩市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について |
| 議案第23号 | 高萩市営住宅設置条例の一部改正について |
| 議案第24号 | 茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の設置に関する協議について |
| 議案第25号 | 平成25年度高萩市一般会計予算 |
| 議案第26号 | 平成25年度高萩市国民健康保険事業特別会計予算 |
| 議案第27号 | 平成25年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計予算 |
| 議案第28号 | 平成25年度高萩市介護保険事業特別会計予算 |
| 議案第29号 | 平成25年度高萩市公園事業特別会計予算 |
| 議案第30号 | 平成25年度高萩市水道事業会計予算 |
| 議案第31号 | 平成25年度高萩市工業用水道事業会計予算 |
| 【3月18日提出】 | |
| 平成25年度高萩市一般会計予算に対する修正案 | |
| 報告第3号 | 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について） |
| 議案第32号 | 損害賠償の額の決定及び和解について |
| 議案第33号 | 高萩市議会委員会条例の一部改正について |
| 意見書第1号 | 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書の提出について |

議案第25号
平成25年度高萩市一般会計予算

岩倉幹良 議員

質問 津波浸水想定エリア内の要援護者及び福祉施設に、戸別受信機300台を配置する計画だが、その事業費は1890万円とのこと。水没避難区域（駅東）に3000台を配

するためである。また、まちづくり観光課の所轄換えることについては、地域振興や活性化を含め、企業誘致や企業振興等、関連性があり経営戦略部に入ることにより、市政推進が一層効率的になると考え一つの部の中とした。

備するとなると、毎年の償還額はいくらか。

総務部長 起債償還の2年目以降は850万5000円で、年間1000万円あれば配備できる。

質問 戸別受信機300台を配備することにしたのは、災害発災時にはやはり戸別受信機に優るものはないと認識されたからこそである。コミュニティFMに無駄に税金を使うより、水没地域に3000台配備する気はないか。

総務部長 予算の3000台で進める。

質問 甲状腺超音波検査費用8500円の内、3000円は自己負担とのことであるが、100対0の交通事故でゼロのものに費用負担を求めるのはおかしい。

健康福祉部長 不安という方には、希望者を対象に応分の負担をいただくことにした。

平正三 議員

質問 市道1661号線測量委託料の具体的な場所と今後の見通しについて伺いたい。

建設経済部長 場所については、常陽銀行高萩支店から旧角鈴までの区間で、路面及び構造物等の老朽化が進み、損傷が著しいため、平成26年度に舗装を計画している。

鈴木英樹 議員

質問 高速バス路線運行支援補助を毎年しているが、どのような運行しているのか。

経営戦略部長 高萩駅から東京駅への上り・下りとも3便です。また、乗車場所は高萩駅、穂積家住宅前があります。

質問 穂積家住宅活用経費の事業目的、内容はどのようなものか。

市長 観光の面から強化する事業です。観て終わりの観光から、立ち寄る場所を提供する観光となります。

質問 花貫物産センター管理運営ですが、毎年売上が減っているが、この要因はなんなのか。

建設経済部長 夏野菜は平地では収穫できますが、山間地では作物自体が少ないことです。

質問 高萩ブランドとして、名刺に12品の推奨品が記されていますが、推奨品の基準と市の責任範囲はどうなのか。

建設経済部長 市内で生産された原料で一年以上の販売実績を勘案します。責任はあくまでも製造者です。

小宅 誠 議員

質問 防災行政無線の戸別受信機を300台沿岸地域の要支援者、福祉施設等に設置について、なぜ、要援護者にこだわるのか。援護者となる隣組家庭や、自主防災組織のメンバー又は、地域の消防団員等への配備が必要ではないのか。沿岸地域全世帯へ戸別受信機の配備はどうか。

総務部長 茨城県の津波浸水想定工

リア内の要援護者248名、社会福祉施設10か所、郵便局等の公共施設等を積算し、300台としました。今後は、これを第一弾として検討します。

質問 災害対策本部車購入についてどのような活動を想定しているのか。

総務部長 災害発生時に出勤し、情報収集や避難勧告発令時の広報活動等を想定している。遠方の自治体において、大規模の災害が発生した場合、先発隊として本市から救援物資を積載して救援に向かうことを想定。平常時は一般の公用車と同様に使用します。

菊地正芳 議員

質問 高萩協同病院運営経費についてこれまでの実績について伺う。

健康福祉部長 安定した急性期医療を継続することを理念として、市民に安全そして安心な医療サービスを提供するため、平成22年度から平成26年度までの5年間で9000万円の医師確保補助金を交付します。22年度は14名・23年度は15名・24年度は16名ということで毎年1名ずつ増えています。

質問 高浜運動広場施設整備事業について伺う。

教育部長 防球ネットを3・5メートル嵩上げる工事とテニスコート5面全て芝を張り替える工事です。

再質問 老朽化が進んで市民の方々から要望があり、今回整備するということであるが、ほかに沢山の要望があると思う。その一つは「時計塔」の設置要望である。今回の整備に当たり、このことも含めて議論されたのか。

教育部長 まずは、危険な状況をなくすような整備を第一義的に考えています。

再質問 時計塔設置については、その都度、議論検討されているということに理解しました。

作山里美 議員

質問 ごみ処理委託料について不燃ごみ処理委託料及び可燃ごみ処理委託料の中身を詳しく説明願いたい。

市民生活部長 不燃ごみ処理委託料は、一般廃棄物の不燃ごみの運搬処理で1台18万円の月4台で12か月分に消費税を含めて907万2000円です。

可燃ごみの委託料は、中間処理業者(株)カッタ、運搬業者勝田環境(株)、最終処分業者(財)茨城県環境保全事業団とトン当たり2万5200円で運搬処理契約を単価契約しています。

今川敏宏 議員

質問 遊休地利活用推進アドバイザー謝礼3万円の内容を伺う。

経営戦略部長 グリーンタウンてつな粗造成地約13haについては、団地の方々から良好な住環境の維持、保全の要望をいただいているので、住環境に配慮した利活用の検討を行うため、必要に応じ専門家の助言を受けるため謝礼として計上した。

質問 グリーンタウンてつなの利活用は大きな事業であり復興事業として捉えられると思う。アドバイザーにはいろいろ相談すると思うので3万円という額は少なすぎる気がする。今後の取り組みを伺う。

市長 まず住環境の保全が大前提と考えている。今はまだ具体的なものはなく、整備されるべき案件が決まったら、その利活用が最大化されるような観点で臨んでいきたい。

大足光司 議員

質問 都市農村交流事業費54万1000円について、里山づくり推進事業の一環として里山交流館を拠点に都市農村の交流事業の拡大を図り、山間地域の活性化に取り組むとのことであるが、どのような交流事業であるのか聞く。

建設経済部長 都市の小学生を本市に招き里山の生活、農作物の収穫や昆虫観察、磯遊び等を体験させる2泊3日の交流事業である。昨年は埼玉県の小学5年生が4名、今年は10名を見込み計上した。

◆総務建設経済委員会◆

3月11日、当委員会に付託された議案18件、陳情3件の審査と所管事務調査を行った。

○平成24年度高萩市一般会計補正予算（第11号）について

歳入については、市民税、固定資産税、市たばこ税の市税合計で2億5500万円余の増額の理由は、個人所得、企業業績が当初見込みより良かったためとの回答であった。

平成24年度からの繰越明許事業については、赤浜田園都市センター改築事業、津波避難東西連絡道路（浜野町踏切）整備事業、津波避難シミュレーション等計画策定経費等があるが、いずれも25年度半ばには完了するとの回答であった。

○議案第24号の茨城消防救急無線・指令センター運営協議会に日立市が加入しないことについては、従来の消防相互応援協定に基づく連絡体制があるので、これを継続して、市民が困らないようにするとの回答であった。

○平成25年度高萩市一般会計予算について

商工費のうち、復興支援プレミアム商品券発行業務については、1万1000円分を3000セット、9月を目途に発行し、有効期間を6か

月とするとの回答であった。増額については、前向きに検討するとの回答であった。

コミュニティFM放送委託料については、積算の根拠について質問があったが、5分間の放送で6000円を支払う、また放送内容については、市内企業の紹介PR、消費生活センターからお知らせ等の情報提供をするとの回答であった。

森林機能緊急回復整備事業の減額の理由については、国の事業が市を通さず直接森林組合に渡されるためであり、市の事業は66haで、国と合算して110ha超を間伐するとの説明があった。

JR高萩駅ご当地発車メロディー経費については、長久保赤水顕彰の「あしたの風とひとつになつて」をメロディーにして放送し、高萩市の魅力を発信するとの回答であった。

陳情の審査報告

○市水道管引き込みの陳情について
担当課より、過去に、下水道工事と一体で安価にできた時に、引き込みの同意を得られなかったとの説明を受け、賛成者なしで不採択となる。

○平成23年度任期付職員（児童福祉専門官）採用について、疑惑が持たれているので事実の解明を求める陳情

調査検討の期間が必要との委員長

の意向にそつて継続審査とする。

○安全・安心社会を実現するため公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書

国に対しての陳情であるが、陳情の受理時点と政権が変わっていると意見があり不採択となる。

◆文教厚生委員会◆

委員会に付託された議案は、平成24年度高萩市一般会計補正予算関係3件、高萩市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例改正等7件、平成25年度高萩市一般会計予算、平成25年度高萩市国民健康保険事業特別会計等、関連4件。これらの議案について執行部に説明を求め、慎重に審査した結果、議案第25号 平成25年度一般会計予算及び、議案第26号から議案第28号、平成25年度特別会計予算案関連3件については賛成多数、平成24年度一般会計補正予算及び、平成24年度特別会計補正予算関係4件、条例改正等7件は全会一致をもって原案どおり可決すべきとの審査結果であった。

総合福祉センターの浴場のダクト改修工事の内容等、福祉センターの浴場の利用について、現在週3日間運営しているが、浴室天井裏のダクト配管が腐食している箇所があるた

め早急に工事改修を行う説明があり、早急に取り組むよう各委員より要望された。また、御座敷休憩室のカラオケの使用はできるのかとの質問に対し、4月より利用ができるとの回答であった。

陳情の審査報告

継続審査中であつた陳情第9号は、介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求めるものであり、超高齢社会を迎える昨今、介護を担う介護職員の不足は深刻であり離職者が依然として多い状況、介護者は介護職員の確保に苦慮しており、介護職員の確保に向け、賃金の改善も必要と認めたことから「採択」すべきとの審査結果である。

その他の所管事務

平成25年の市政方針にて「暮らしやすく、安全安心なまちづくり」として通学路等の安全確保が上げられており、震災からの復旧を第一として、ため遅れていた市道の整備について、浜野町踏切や市道111号線など、通学路への歩道の設置及び歩行者への安全確保に対する整備を進めるとある。しかし所管する委員会は総務建設経済委員会であり、教育委員会においても子供たちの通学路の安全確保を図るためには保護者の意見も含めて検討をしていたきたいと議員より要望があつた。

討

論

議案第25号
平成25年度高萩市一般会計予算

修正案反対討論

大足光司 議員

平成25年度 高萩市一般会計予算の修正案について、コミュニティFMは必要の観点で討論する。

議会をFMで配信することは「市民に分かりやすい 開かれた議会」のためには、有効な手段である。

さらに、個人経営者や商店、飲食店等にも、新たな広報手段として、大きな費用をかけなくても、宣伝とPRができる。

ラジオを通じて、市内の各地域の情報や話題等、多くの情報の発信と取得はもちろんのこと、そして、若者たちの賑わいと活気「まちの元気」を取り戻すことにも期待される。

これらのことは、防災行政無線や戸別受信機では到底、行うことはできない。

市からの委託料や、運営費の支援費用はかかるが「FMラジオの活用法」そのメリットを総合的に考えれば、市において「コミュニティFM局」を開局することは非常に有意義であり、必要と考える。

このようなことにより、コミュニティFMに関する委託料及び、補助金を減額するような修正案には賛成できない。

修正案賛成討論

作山里美 議員

岩倉、小宅両議員より提案されているコミュニティFM予算の修正案に対し賛成の討論を行います。3月定例議会最終日にすばらしい案件が出されたこと私は大変うれしく思います。大分議会が改革されてきたなと思いますし、市民も評価してくれていると思います。本案件は市民が求めているFM放送をやめ、その予算を市民の命と健康を守るための予算に振り替えようとの議論ですからきわめて価値ある提案です。多くの市民はこの修正案に限りない拍手を送ってくれていると思います。議員の皆さんよく考えていただきたい。政治は主権在民です。民意を尊重しなければなりません。コミュニティFMは市民に対する押し売りです。今回の議論は限らない税金の無駄遣いを早く食い止めるか、それとも継続するのか、この機会に市民の命と健康を守るためにより踏み込むのかの判断です。議員の皆さんよく考え、えいただき賛同賜りたい。

寺岡七郎 議員

限らない税金の無駄遣いであるコミュニティFMの予算を削減し、市民の命と暮らしを守るために振り向けるべきです。予算を審議するうえで私は三つの物差しで判断します。
1 事業の必要性があるかどうか。
2 事業の必要性があつたとしても費用対効果が期待できるかどうか。
3 取り組もうとしている事業がほかの予算に対して優先される事業かどうか。

コミュニティFMは市町村固有の事務ではありません。したがって、交付税の対象ではありません。財政事情が厳しい中で、コミュニティFMに手を出すなど私には考えられません。そもそも行政体にはコミュニティFMは許可ができません。災害時に戸別受信機かコミュニティFMかどうかを市民が求めているのか明らかです。市民の税金を何と考えているのか。視聴率3・2%の内容にどうして血の出るような税金を使うことができるのか私は到底理解できません。いうならば市長の趣味の世界を満足させるために市民が犠牲になることは許されません。

議 案 等 審 議 結 果

議案第1号から議案第24号まで、並びに議案第29号、議案第31号について、全員賛成により同意または可決されました。議案第25号については、議員から提出された修正案は否決となり、議案第26号、議案第27号、議案第28号、議案第30号とともに賛成者多数により原案のとおり可決されました。議案第33号については、議員から提出があり原案のとおり可決されました。意見書案第1号については、国の機関並びに県に意見書を提出しました。

請願・陳情の審議結果

介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書	採 択
安全・安心社会を実現するため公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	不 採 択
市水道管引き込みの陳情書	不 採 択
平成23年度任期付職員（児童福祉専門官）採用について、疑惑が持たれているので事実の解明を求める陳情	継続審査



岩倉幹良 議員

任期付職員採用について

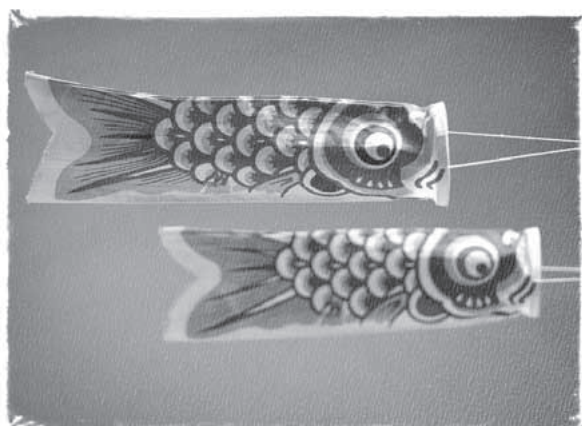
質問 任期付職員採用条例は、市長の専決処分によって制定された。その理由を福島第一原発の事故を受けて放射線に係る相談業務を行うため、放射線対策専門官を任用する必要があったので、その任用条件等を早急に整備しておくべきであると考えたと云っているが、この条例を根拠として児童福祉専門官を採用するとなった時、何の違和感も覚えなかったか。

る時期でもあったことを考えると、なおさら不明瞭な職員の採用であったと考えざるを得ない。児童福祉専門官の採用に合たつては、職員採用試験委員会も開かず採用する者を予め決め、それにあった非常識な受験資格を設定し、放射線対策専門官を任用するために制定した、それも専決までした任期付職員採用条例を利用して採用に及んだと言われても言い逃れはできない。

市長 当該職員とは、法人は一緒にしたけれども同じ職場になったことはない。私が同仁会の職員だった、たった2年間です。

総務部長 専決処分の理由は、1月の時点で放射線対策専門官を任用するための条例制定を行う必要があったため。2月下旬になり児童福祉専門官の募集を行うことになったが、専決処分の理由そのものに影響するものでなかったため、特に違和感はありませんでした。

質問 聞くところによると市長と児童福祉専門官として採用された課長補佐とは、過去に社会福祉法人同仁会で職場を共にしたことがあり、ましてや直前の5年間市の家庭児童相談員として勤務し、その任期が切れ



寺岡七郎 議員

指定廃棄物の最終処分場について

質問 国は2013年度の予算で指定廃棄物の最終処分場の建設費5県合わせて159億円、処理費や保管委託費468億円を計上しています。新しい政権になってこれまでの取り組みを検証すると言っております。今回の指定廃棄物の最終処分場の候補地見直し方針転換について評価すると市長は述べております。しかし、これは高萩市を含めて再調査をすることになっております。だとすれば、調査結果については尊重せざるを得ないのではないかと。しかし、市長は再調査の結果高萩市が選定されたら反対と言っております。だとすれば、高萩市を含めてこの再調査には反対である。これが本来の筋ではないか。市長の考え方は総論賛成、各論反対になる。

市長 評価するという言葉の意味ですが、国の姿勢、すなわち前政権ではなく新政権を評価したということです。昨年10月の頭に環境省に向いて白紙撤回を申し入れをしまし



処分場候補地となっていた国有林



大森要二議員

里山地区の振興について イノシシの被害対策について

質問 里山地区は、かつては林業や畜産業で栄え、現在は人口減少、半数近くが高齢者、私の先輩が厳しい状況がしばしばあります。イノシシの被害がひどく、耕作放棄地がふえ、これまでの対策についてお伺いしたい。

市長 地域力が低下していると私も認識してございます。里山地区の基本的スタンスは豊かな自然に代表される地域資源の保全、活用、観光振興、さらには都市と農村の交流事業ではないかと、こういうふう認識してございます。

建設経済部長 主立った事業の一つであるボーイスカウトのフィールド整備事業、ボーイスカウト活動の全国的な拠点づくりのための整備計画作成や先行的なインフラ等の整備が予定され、市としても支援してまいります。都市農村交流事業、内容は上君田の豊かな自然に触れ、地元住民や児童との交流を図る事業です。次に補助事業

について、こころの里シティづくり補助と元気な高萩づくり21応援プロジェクト補助であります。観光振興につきましては小山ダム、花貫ダム、松岩寺の山桜、花貫溪谷、汐見滝、つり橋、土岳等、里山には四季を通して楽しめる多くの観光スポットがあり、花貫溪谷沿いに紅葉の植栽を実施したところでございます。イノシシの被害に対する今後の対策についてイノシシは市町村境を越えて山間地を広域で移動しており、現在県内7自治体で実施している猟友会への補助費用などについて、県に対して助成要望をしてまいりたいと思っております。



松岩寺の山桜



作山里美議員

農地保全について

質問 「農業政策を軽視すれば国は滅びる。」これは私の持論です。今日の地区内農業の実情を見ると働き手の高齢化に加え、担い手の農業離れが年々加速する中、農地をいかにして健全に保全するか、これは重要な課題です。そこで提案しますが、高萩市独自の政策として受託耕作者つまり利用権設定農業者に対し、面積に応じての奨励金制度を設けるべきと思いますが市長はいかがお考えでしょうか。

市長 受託耕作奨励金については、そういう独自の手法があるということは認識してとらえてまいりたいと考えております。基本的には農政は国の専管事項であります。今後国の情勢を見守りたいと思っておりますのでご理解を賜りたいと思います。

ごみ処理について

質問 行政体自前のごみ処理場を広域化で建設する、これは市長の公約です。しかし市長2期目の任期を1年しか残していないのに広

域化の準備は全く進んでいない。ごみ処理の広域化に対する市長の熱意をお伺いします。

市長 ごみ処理の広域化についての協議は全く進んでおりません。震災の復旧復興でとてもやれる状況にないということです。今一番大事なことは高萩市から出されたごみが適正に処理されているかどうかです。

現在は民間事業者への委託あるいはリサイクルセンターでの処理等で、高萩市のごみは適正に処理されています。市民から困った声は聞いてございません。広域の協議は必要な時にやってまいりたいと考えております。



受託耕作者の作業風景



平 正三 議員

子育て支援について

質問 県が行っている子供の医療費助成制度に上乗せをして実施している自治体が増えている。子育て支援策として、県の医療費助成に上乗せして実施する考えがあるのかどうか、市長の見解を伺いたい。

市長 対象年齢を拡大するかどうかについて、全く異論がありません。子育て支援の施策として大変重要と認識している。茨城県に補助対象の拡大を要望するとともに、近隣の状況を踏まえ、本市としても検討していきたい。

教育問題について

質問 武道が必修科目なので、個人負担を避けるべきである。高萩中学校に武道場があるが、他の学校への整備についての考えを伺う。不登校、いじめ、体罰問題にどのように取り組んでいるのか伺いたい。

教育部長 用具の整備については、どのくらいの人々が個人で買い求めているのか調査していきたい。武道場については、他の学校に剣

道、柔道の部がないのでつくる計画はない。

教育長 不登校については、学校で定期的に担当者会議をもって協議している。いじめについては、毎月行われている校長会において、いじめは人間として絶対に許されないという毅然たる態度で子供に臨むように指導している。体罰については、市独自に教職員の体罰禁止の通知を再三行っている。体罰をした教師に対して、保護者と本人に謝罪させるとともに、教育委員会に呼んで指導さらには誓約書を書かせている。今後とも子供の人權を尊重して指導がされるよう努力していきたい。



高萩中学校武道場



今川敏宏 議員

復興について

新市庁舎、防災計画の進捗状況

質問① 新市庁舎の建設について、どういうイメージで計画してゆくかという根本的段階である基本構想がとても重要な段階です。いつ提示されますか。

質問② 防災計画について、災害は毎回同じではなくそのたびに対応が変わりますので、現状最善の上にどんどん上塗りする計画にするべきです。見解を伺います。

市長 庁舎建設や防災計画は指摘を踏まえて議論しながら市民のために進めたいと思います。

経営戦略部長 復興に関しては震災復興等対策特別委員会ですべて説明し意見をいただながら進めていきます。

市民の健康について

歩くことが健康と負担軽減に

質問 生涯現役のためと医療費介護費軽減にはまず健康です。そこで大きな効果があるウォーキングの奨励、普及啓発をすすめる、グリーンタウンをつなの遊休地に安全に歩けるコースと子どもたちのグ

ランドを整備し防災機能を有する運動公園を提案し見解を伺います。

健康福祉部長 市内4コースあるヘルスロードの周知を図るとともに、セミナーの開催、施設整備等関係各課と協議していきます。



穂積家住宅駐車場のヘルスロード看板

交通安全対策について

歩行者優先の安全対策

質問 団地内や通学路など危険の一番の要因は自動車であり、歩行者優先の安全対策を進めるべきです。見解を伺います。

総務部長 当然のことながら歩行者の安全に配慮した施策を今後展開したいと考えています。



小宅 誠議員

「誇りの創出」 景観を誇れる街について

「誇りの創出」

質問 市長は25年度施政方針で、災害復旧からの復興へをキーワードとして「誇りの創出」と、暮らしやすく安心安全な街づくりを重点に市政を取り組んでいく。震災から復興に全力で2年間取り組み、復旧もおおむね完了したと、誇らしげに強調していますが「誇りの創出」の原点とはなんですか。

市長 就任当時、市民がこの街に対して誇りを持っていないことを感じました。このことが原点で市民が一体となって郷土愛と誇りを呼び覚まそうと呼び掛けてきました。人生においても、行政においても、自慢できるものをたくさん持っている人と持っていない人、どちらがその人にとって誇りが高まるか、生きがいを感じるか、たくさん持っていたほうがよいに決まっています。物理的な面・精神的な面においてたくさん高萩の自慢できるものを作っていきます。

景観条例について

質問 市民憲章の前文にある、太平洋の海原を望む景色と阿武隈の山並みを仰ぎ見る自然がたくさんあります。この美しい街に住んでいることに誇りを持つ市民が大勢います。この自然景観を、次の世代に引き継いで行くために「高萩市景観条例」の制定を検討してはいかがでしょうかですか。

建設経済部長 現在のところ景観条例を制定する考えはありません。平成9年に地域の賛同を得て、松岡まちなみ整備景観ガイドラインを制定し、景観形成地区、景観重点整備地区を設定し、この地区の建築物等の建設について協議をしながら進めています。



赤浜海岸・ささき浜



大足光司 議員

暮らしやすい快適な まちづくりについて

質問 東日本大震災からの復興後の本市における「暮らしやすい快適なまちづくりについて」今後どのように取り組んでいくのか具体的な施策について市長の考えを聞く。

市長 ハード整備における暮らしやすいまちづくりについて、防災対策及び通学路の安全確保に取り組んで参る。平成25年度の最優先事業としては、浜野町踏切の整備事業を計画してお



浜野町踏切

り、沿岸部地域と高台を連結する道路整備を行うことにより津波からの避難通路を確保する。また、都市計画道路3・3・9号線、石滝赤浜線の国道461号から南進の整備についても早急な整備が図れるよう茨城県や日立市と協議を進め

て参る。

質問 庁舎建設計画に関わる市民の意見をどのように反映していくのか伺う。

経営戦略部長 より多くの方々から意見をいただくために、学識経験者や市内の各種団体及び一般市民で構成する市民懇話会を行い、市民アンケートを実施し、意見を取り寄せて行きたいと考える。

質問 高萩停車場線3・5・2号線について地権者との交渉について聞く。また、震災時の避難経路としても、市はどのように考えているのか伺う。



高萩停車場線

建設経済部長 地権者との交渉は現在も応じてもらえない状況にある。この路線は高萩市都市計画マスタープランにて、高萩駅へのアクセスを強化する路線として主要幹線道路と位置づけをしている。また、高萩高校が避難施設と指定しており、避難道路としても重要な路線と認識しており、引き続き交渉に応じていただけるよう努力する。



菊地正芳 議員

障害者優先調達

推進について

質問 この法律は、国と独立行政法人等に対して、障がい者が就労施設で作った製品の購入や、清掃などの業務委託を優先的に行うよう義務付けるとともに、地方公共団体に対して、障がい者施設の受注機会の増大を図るよう努めることを求めている、本市の果たす役割と計画を伺う。

健康福祉部長 国や県の基本方針などに基づき、法の趣旨を踏まえて対処していきます。

高次脳機能障害者への

支援について

質問 これは、脳血管障害などで脳を損傷した結果でてくる後遺障害である。この障害は外見からでは分かりにくく自覚症状も薄いため隠れた障害と言われている。障害を知らない人から誤解を受けるなど、社会復帰が難しい事例が多くある。それをなくすには障害に対する認知度を高めていくこと、そしてその症状に応じた対応やサービスの普及が大事である。見解

を伺う。

健康福祉部長 議員提案を踏まえ、

支援可能な医療機関等の情報をホームページにアップし、また、担当職員のスキルアップのため積極的に研修会にも参加してまいります。

学校における

アレルギー対策について

質問 昨年、調布市の小学校で食物アレルギーに伴う死亡事故が起きている。本市ではエビペン持参の対象者がいないから研修に取り組んでいないというのは、あまりにも消極的である、正しい知識を全ての教職員に持たせ、対応できる先生を増やすべきである。

教育長 早急にマニュアルを整備し、エビペンの使用の研修会についても実施に向けて計画していきます。



特別委員会報告

“安全、安心のまちづくりに向けて”

震災復興等対策特別委員会

3.11東日本大震災より2年が過ぎた。当委員会は震災から一日も早く安全、安心のまちづくりに向け、復旧・復興を促進するため、議会としての意見等を集約する目的で設置しているものであるが、この2年間で、市議会改選前に9回、改選後に17回、通算26回開催してきた。

この間議論された案件は数多いが、主なものとして危機管理、津波対策、放射線対策、避難所機能、学校耐震化、災害情報伝達方法、地域産業・文化振興、観光対策、地域コミュニティ、市庁舎などであり、その成果に貢献してきた。

3月議会中3月13日に開催した当委員会において執行部から報告された復旧率は、被災件数479件のうち472件が復旧され98.5%である。（あくまで行政関連施設の被災であって単に件数での率である）

今後はまさに復興に向けての取り組みが比重を増してゆくが、中でも新高萩市地域防災計画の原案と市本庁舎基本構想が示され議論の中心になっている。4月には地域防災計画の集中審査と本庁舎建設のための視察研修を行い、当委員会の目的を果たすため今後もさらに議論を重ねてまいりたい。

“市民に開かれた議会を目指して”

議会改革等調査特別委員会

平成23年12月定例会で、議会改革等調査特別委員会が設置され、市民に開かれた議会、わかりやすい議会、市民参加のできる議会を目指して、これまで14回の議会改革等調査特別委員会を開催してきました。

議会の憲法と言われる議会基本条例の検討を行いながら、今すぐできる改革を実行しつつ、慎重に審議を重ねています。

これまで新たに議会改革として実行されたのは、本会議のインターネット配信・議事録の検索及び災害FM（現在はコミュニティFM）による放送、まだ試行的段階ですが、4月に市内6か所で3月定例会の議会報告会を行いました。

これからも「市民に開かれた議会を目指して」さらなる改革を行えるよう、議会の総意をあげた検討を行っていきます。



春日町 安斉 裕伸

4月。新しい年度が始まったある日、新聞折り込みに市報に混じり、黄色の用紙で「議会報告会のご案内」に目を留めた。日ごろ、行政または議会等にまったく無縁な私であるが、市民に開かれた議会・わかりやすい議会・市民参加のできる議会等の文字に「どのような報告会なのか」「市民の関心度はどのくらいあるのか」等、気になり14日(日)に総合福祉センターで開催された報告会に参加しました。

報告会では、議長より平成25年3月議会で承認された案件が説明され、その後、委員会ごとの代表者より主な内容の説明がありました。その後、質疑応答になり、駅前商店街・企業誘致・指定廃棄物最終処分場について等のやりとりがありました。

今回の報告会は、議員の方々も積極的に参加され、私はよい試みであると思います。

高浜町婦人グループ

議員の皆さんいつもご苦労さまです。私は、東地区に住んでいます。もっと市民目線で分かりやすい言葉で説明していただけるとありがたかったです。

3月11日の震災から3年目になりますが、君田地区の皆さんが水不足で苦労したお話がありました。本当に大変でしたね。浜地区には高台がないためグラウンドに避難タワーはどうか？市営住宅への階段はどうなっているのか？予想では津波の高さは7メートル位で、23分位で到達するから早く高台に逃げるように恐怖で過ごしている私たちは、お話が聞けて少し安心しました。

議会の内容はわかりませんが、学ぶ心をもって、各地区で開催される議会報告会に参加してみましようよ、皆さん。



議会のホームページをご覧ください。

高萩市議会

検索

○議会本会議をインターネットで生中継します。また、録画を見ることができます。

[たかはぎFM(76.8MHz)でも放送を予定しています]

○会議録の閲覧・検索ができます。平成21年からの会議録が対象となります。第1回定例会の会議録は、5月下旬に閲覧可能となります。

傍聴においでください

次回定例会予定

6月7日(金)	本会議	議案上程
10日(月)	本会議	一般質問
11日(火)	本会議	一般質問
13日(木)	本会議	議案質疑
14日(金)	文教厚生委員会	
17日(月)	総務建設経済委員会	
18日(火)	震災復興等対策特別委員会	
19日(水)	議会改革等調査特別委員会	
21日(金)	本会議	採決

※日程等が変更になることがあります。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

議会だより

編集特別委員会

委員長	今川 敏宏
副委員長	田所 和雄
委員	大足 光司
	岩倉 幹良
	小宅 誠
	飯田 毅昭
	我妻 康伸

今回の「議会だより」のリニューアルも開かれた議会を目指しての取り組みであります。リニューアルにあたっては、編集特別委員会を幾度となく開催をし、委員長を中心に編集委員が一丸となり取り組んでまいりました。今後ともわかりやすい「議会だより」を目指し、一人でも多くの市民の方々に読んでいただけるよう、編集に努めてまいりたいと思います。

(我妻康伸記)